

授業科目名： バレーボール	教員の免許状取得のための の 必修科目	単位数： 1単位	担当教員名：渋谷聡、山田美絵子 担当形態：オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 体育実技		
「学位授与の方針」との関係 AからFの項目すべてに該当する。			
授業のテーマ及び到達目標 (1) バレーボールに必要な基礎技術（パス、スパイク、サーブ）を、ICTなどを用いて修得する。 (2) バレーボールで「主体的、対話的で深い学び」を修得する。 (3) バレーボールの動きを分解して、つまずきからの手立てを修得する。			
授業の概要 バレーボールは、ネットを挟んで集団で行うネット型スポーツであり、チーム内でのコミュニケーションが勝敗に関わることから、中学校や高等学校の体育授業として行われている。しかし、ボールが当たって腕が痛いことや、上手くボールを上げることができない、タイミングよくスパイクを打つことができないなどの理由から、バレーボールの楽しさを十分に味わうことができない生徒もいる。 本授業では、バレーボールのパス、スパイク、サーブの基本動作を身に付けさせるとともに、何がうまくできないか、どうすればうまくいくかを、ICT やグループディスカッションを実施することによって、学生個人あるいはグループで「気づき、理解する」ことを促す。合わせて、これらが主体的で対話的な深い学びにつながり、「生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなライフスタイルを実現する」ことを理解させる。			
授業計画 第1回：バレーボールの魅力や特性を理解する 第2回：パスの基礎技術（1）オーバーハンドパス技術を身につける 第3回：パスの基礎技術（2）アンダーハンドパス技術を身につける 第4回：パスの基礎技術（3）フォーム改善点の確認(ICT の活用、グループディスカッションの実施) 第5回：スパイクの基礎技術（1）スパイク技術を身につける 第6回：スパイクの基礎技術（2）フォーム改善点の確認(ICT 活用、グループディスカッション実施) 第7回：サーブの基礎技術（1）サーブ技術を身につける 第8回：サーブの基礎技術（2）フォーム改善点の確認(ICT の活用、グループディスカッション実施) 第9回：戦術（1）フォーメーションを理解する 第10回：戦術（2）レセプションからの攻撃を身につける			

第11回：戦術（3）実戦での三段攻撃を身につける

第12回：実践演習（1）実戦でのコミュニケーション（声かけなど）を身につける  
（グループディスカッションの実施）

第13回：実践演習（2）実戦でのルールおよび審判法を身につける

第14回：実践演習（3）チーム別課題練習（ICTの活用、グループディスカッションの実施）

第15回：授業のまとめ

定期試験（実技試験）

スクーリングでの学修内容

- ・ グーグルクラスルーム：動画視聴等による課題に取り組み、ICTを活用して課題を提出する。
- ・ 会場（対面）スクーリング：バレーボールを通して、技術向上や指導に必要な学び（主体的、対話的で深い学び）をグループディスカッションなどで横断的に学んでいく。  
（主に、第1回～第15回の内容を含む。）

教科書

- ・ 黒川貞生「バレーボールパーフェクトマスター」新星出版社、2006年

参考文献

- ・ 気になる子の体育つまずき解決 BOOK 授業で生かせる実践 52（阿部利彦編著、学研教育みらい、2015年）
  - ・ 気になる子も一緒に体育で始める学級づくり ソーシャルスキルのつまずきを学級経営に生かす応援プラン 109（阿部利彦編著、学研教育みらい、2017年）
- その他、必要に応じて適宜紹介する。

学生に対する評価

スクーリング評価（20%）、実技テスト（80%）の割合で総合して評価する。